

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、23～26℃台を示し、かなり低め～やや低めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網---月夜間とシケのため出漁日数が少なかった。西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり1トンの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。北松南部地区では、マイワシなどが1日1統当たり11トンの水揚げで、前週の46%（前年を下回った）。
- イカ釣----スルメイカは、壱岐勝本地区では1日当たり1.1トンの水揚げで、前週の22%（前年を上回った）。ケンサキイカは壱岐勝本地区では、1日当たり159kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり15kgの水揚げで、前週の15%（前年を上回った）。
- 定置網----対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり11kgの水揚げ。
- 一本釣---北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり297kgの水揚げで、前週の2倍（前年を上回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり22kgの水揚げで、前週の1.6倍（前年を上回った）。
- トビウオ船曳---北松生月地区では、小トビウオ主体で1日1統当たり1.2トンの水揚げで、前週の67%（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（9/30～10/5の6日間）沖合イカ釣り船（船凍船）は、大和堆付近で操業。赤イカは切揚。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、山口沖～山陰沖は時化及び月夜で漁薄、能登半島沖～佐渡沖～山形沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）入港船なし。今期も時化及び月夜で出漁船は殆どなかった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>